

30年度大岡小学校 6年1組 クラスの学びを発信します！

シャボン玉のイベントで商店街を活性化させよう！

～シャボン玉の準備をして、まちでショーを開こう！～

最後の大岡の時間。どのような活動を行うか、たっぷり時間をかけて話し合いました。お世話になった地域・まちに感謝をしたい。そのために自分たちでできることは何だろうか・・・？キーワードは「商店街のニーズ」自分たちの押し付けではいけない、商店街の問題点やまちの人が必要としているものは何かをインタビューしました。そこで、商店街をもっと盛り上げてほしいという声に答えて「イベントをやろう！！」と方向性が決まりました。

何のイベント・・・？まちをシャボン玉で盛り上げているニュースを見て、「これだ！シャボン玉のショーを行い、商店街に人を呼ぼう！！」ということで、活動がスタート！

まずは、シャボン玉で遊んだり、シャボン玉のひみつを調べたりしていきました。



最初はみんなで一緒に吹いてシャボン玉がたくさんできる光景に感動していた子どもたち。そのうちに、「こんな道具で？」といろいろな工夫をし始めたり、偶然にできるシャボン玉に感動したりしていました。何より、作りたいシャボン玉ができるまで、あきらめず挑戦する姿も見られました。

そのうち「早くショーをやりたい！」という声が・・・そこで、学年の友達に見てもらうことを計画しました。コンセプトは「シャボン玉の楽しさを伝えよう！」です。

子どもたちは、シャボン玉の楽しさを「見た目」「偶然にできる」「工夫できる」「協力できる」の4つを見出しました。しかしよく考えると、その楽しさは作り手の楽しさ。それを見てもらう人に伝えるのはどういふものか・・・？しかも、子どもたちは失敗しても楽しいシャボン玉。ショーとなると失敗は許されない。葛藤を続けながら何度も話し合い、子どもたちはショーよりももっとシャボン玉を極めようということになりました。

